

医療の高度化や薬剤耐性菌の増加に伴い、高まる医療関連感染のリスクに対応するために、感染対策室が設置され3年が経過しました。

医療関連感染は、全ての医療施設で日々直面している問題であり、ジカウイルス、麻疹(はしか)の流行や、新型インフルエンザの未知の感染症の発生など、感染対策を取り巻く環境も大きく変化してきました。

当院は、地域の施設と情報共有をはかり、地域全体の感染対策が向上するような取組みをおこなっています。(感染防止対策加算1と感染防止対策地域連携加算を取得)

今後も病院に来られる患者さんやご家族を感染から守るべく、職員一人ひとりが感染対策の意識をもって業務できるように努めていきます。

これから冬季にかけインフルエンザ、ノロウイルスの流行期に入ります。感染しないようしっかり手洗いを行いましょう。受診の際は正面玄関で手指消毒を行い、咳をしているかたは必ずマスクの着用をお願いします。

感染対策室主任 水本雄二

